



ねっどわーく



H24.08.20 No.34

■ いよいよ…

短い夏休みでした…。さあ、気持ちを切り替えていきましょう！（自分が一番切り替えねば（笑））
17日（金）は、久野先生をお招きしての研究全体会でしたが、みなさん、ありがとうございました。特に指導案を出された先生方にはご苦勞をおかけしました。とはいえ、久野先生のご指導、わかりやすかったですよね～！

自分的には、研究パンフレットについてご指導いただけたこと、大変勉強になりました。そこで、全体にもかかわるところなのですが、「研究の視点1、次のように変えたほうがわかりやすいのでは。」と久野先生からありました。つまり、これまでの研究実践から、「こういうことが言いたいのでは？」ということだったのですが、自分的には「なるほど！」と目から鱗が落ちたのでした。

で、言葉が変わるだけで、内容について変わるわけではないので、とりあえずご安心ください。こんな風に、変わっていくこと・変わることで、当たり前だけど大切なことだと思います。だって、研究の成果の一つなのですから。（と徒然なるままに）

研究の視点1 心の耕し

研究の視点1 提案理由の
明確性と共通理解

研究の視点1 提案理由の明確化と必然性

私たちが大事にしてきたことは、子どもの生活（学習も含めて）の中から議題を見つけてきたということ。そして、議題を通して、学級がさらに「よりよい」生活となることを求めているので。

研究の視点1

生活から立ち上げる議題提案

